

令和5年度「モヤヒルズ」に係る事業報告書等評価結果

モヤヒルズについては、（一財）青森市文化観光振興財団が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

令和5年度の事業報告書等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認、検証し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和6年7月31日

施設名	モヤヒルズ
設置目的	観光・レクリエーション等の余暇活動の場を提供することにより、本市の観光及び地域振興を図り、併せて市民の健康の増進に資することを目的とします。
所在地	青森市大字雲谷字梨野木63番地
指定管理者	【名称】一般財団法人 青森市文化観光振興財団 【代表者】理事長 木村 文人 【住所】青森市大字雲谷字梨野木63番地
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで（5年間）

評価項目	検証結果	評価結果	
		適正	要改善
管理について	モヤヒルズ管理運営業務仕様書に基づき、適切な施設管理（保守点検・維持管理）を行っている。危機管理体制については、危機管理マニュアルを整備し、防犯・防災・救護の体制を整えている。個人情報の保護については、関係簿冊等は施錠できる保管庫で管理されており、適切な対応がとられている。環境保全については、横内川水道水源保護条例等を遵守する取り組みを実施している。 地域や関係団体との連携については、イベント等の実施時期における新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、感染防止対策を講じた上で、可能な限り事業計画に基づいた事業展開（雲谷そばの栽培・市内事業者との誘客連携）を行っている。職員の研修については、索道関係の研修を中心に年間計画どおり実施している。	○	
運営について	モヤヒルズ管理運営業務仕様書に基づき、適切な運営を行っている。市民の平等な利用の確保については、広報やHPなどで周知を図り、受付順を原則としている。利用者等の要望の把握及びその反映については、意見箱設置により要望の把握に努め、反映に向けては定例会議での検討を行っている。利用促進への取り組みについては、新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、感染防止対策を講じた上で、可能な限り各種大会・イベントの開催に努めている。	○	
事業実施結果について	自主事業について、計画した大会・イベントなどの開催時期における天候や新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、感染防止対策を講じた上で、可能な限り計画通りに実施し、通年で利用できるように取り組んでいる。	○	
収支決算書について	経費削減に取り組み、支出を抑える努力を行っており、予算と大きな乖離はない。 指定管理業務以外の経費の混入は無く、収支計算書は適正に作成されている。	○	

【総合評価】

施設の管理運営状況、事業実施状況、収支決算書については概ね適正であり、運営面については、これまでの指定管理者経験を活かしながら適正な管理運営を行っている。

令和5年度のグリーンシーズン（4～10月）は、自主イベントを積極的に実施したことや、近年のキャンプブームに伴い、集客が図られ、利用者数は7,688人と令和4年度比94%までに達した。また、今年度は、6年ぶりに大文字焼きを開催し多くの来場者で賑わっていた。

ウィンターシーズン（12～3月）は小雪のため、1月中旬から全リフトが営業開始、2月上旬からコスモスクウッドリフトに加え、オダマキペアリフトのナイター営業が開始となり、全面滑走できる時期が例年よりも遅くなったものの、積雪状況を考慮したゲレンデ整備を行いながら、3月末まで営業を行った。例年通り集客を図るため、自主事業イベントを実施したものの、小雪の影響を受け、入場者数は52,979人と令和4年度比：77%となった。

収支決算では、キャンプやレンタル収入が伸び、利用料金収入等は増加した一方で、電気代や物価高騰に伴い、支出額も増加したが、支出抑制を図った結果、黒字とした。

今後は、令和6年度に市が索道を活用した登山道整備、インスタ映えスポットの設置、ケビンハウスのエアコン設置と、利用客受入環境を整備することとしていることから、誘客事業の拡充も視野に入れながら、グリーンシーズンを含め、更なる利用者増加が図られる取組を継続的に推進していただきたい。

【担当課】 青森市経済部観光課

【電話】 017-734-5153

【メール】 kanko@city.aomori.aomori.jp